




日付	1日目 1月1日	2~4日目 1月2日~1月4日	5~7日目 1月5日~1月7日	8日目 1月8日
目標	<input type="checkbox"/> 発熱が無い <input type="checkbox"/> 治療に対する不安や不明な点は医療者に確認出来る	<input type="checkbox"/> 38.0℃以上の発熱がない <input type="checkbox"/> 腰痛・だるさがない	<input type="checkbox"/> カテーテル挿入部からの出血がない <input type="checkbox"/> 38.0℃以上の発熱がない <input type="checkbox"/> 腰痛・だるさがない	<input type="checkbox"/> 38.0℃以上の発熱がない <input type="checkbox"/> 腰痛・だるさがない
内服	持参薬がある時は看護師に見せてください。 普段飲まれているサプリメントがある場合も看護師または薬剤師に見せてください。			
注射	白血球を増やすために皮下注射をします。 (5日目以降は採血の結果で中止する場合があります)			
検査	採血があります。 心電図検査があります。 胸のレントゲン撮影があります。 (外来で行った方はありません。)	3日目と4日目の午前中に採血があります。	朝、7時30分までに採血をします。	
処置			透析室で幹細胞を採取します。 (約3~4時間を予定しています。) 十分採取出来れば、カテーテルを抜去します。	
食事	特に制限はありません。何を食べて頂いても結構です。(場合によっては、制限がある方もいます) 食欲が無いときは、病院食を変更することが出来ます。看護師にご相談下さい。			
安静	特に制限はありません。		カテーテルが挿入されているので、出来るだけ病棟内で過ごして下さい。	特に制限はありません。
清潔	特に制限はありません。		シャワー浴を希望される方はカテーテルが濡れないようにカバーをしますので看護師に伝えて下さい。	カテーテルを抜いた翌日より通常のシャワーが可能です。
説明		白血球が増える時に、発熱や関節痛が起きる場合があります。	カテーテルは、首または足の付け根に入ります。	

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。 福井県立病院 血液腫瘍内科 G-CSF 末梢血幹細胞移植で入院された方へ 2017年9月改訂